
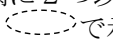


学校裁量枠において重視する観点及び選抜方法の概要等

1 一覧表の見方

会場 番号	学校名	科名	選 抜 段 階	選抜において重視する観点		選抜 割合	選抜 対象	選抜方法の概要	選抜資料					参 考 資 料	
				審査項目					調査 書	検 査 力	面 接	学校独自選抜資料			事 前 調 査 票
										作 文	検 査 技	其 他			
35	静岡城北	[設定の目的]	本校は、校訓「高き希望」の精神に則り、志を高くもち未来を切り拓くたくましい人材育成を目指している。普通科では社会人としての基礎基本を身に付けた、たくましい生徒の育成のために、選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、競技成績の向上により学校の活性化に資するとともに、礼儀・マナー、学習態度など学校生活において本校生徒の模範となることを期待する。国際科では地域社会及び国内外に広く目を向け、次代を担う人材育成のために選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、英語力を高め、多文化共生社会のリーダーとなることを期待する。												
		普通	I	体育的活動		10% 程度	希 望 者	調査書の学習の記録における9教科の評定平均が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	○
				バスケットボール(男)、サッカー(男)、ハンドボール(女)、新体操(女)における実績、適性、活動意欲											
国際	I	学科への適性		20% 程度	希 望 者	調査書の学習の記録における9教科の評定平均が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び適応力検査の結果に優れた者を合格者とする。	○	○	○			適 応 力 検 査			
		英語によるコミュニケーションへの意欲・能力・実績(海外体験、スピーチコンテスト等)													
39	静岡農業	[設定の目的]	本校は、伝統を誇るハンドボール部及び野球部の活動を生徒の健全育成と愛校心の醸成に生かしており、さらなる学校の活性化を図るために、ハンドボール及び野球(男)において選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、個々の能力を開発し、部活動の競技成績の向上に資するとともに、他の生徒の模範として積極的に学校生活を送ることを期待する。												
		生物生産 生産流通	I	体育的活動		5% 程度	希 望 者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。	○	○	○	○	○	○	○
				ハンドボール、野球(男)における実績、適性、活動意欲											
II	中学校における学習		45% 程度	全 員	調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の学習の記録における9教科の評定合計に優れた者を合格者とする。	○	○	○							
	9教科の学習成績														
79	浜松城北 工業	[設定の目的]	本校は、社会の発展に貢献できる有為な工業技術者の育成を目指し、さらなる学校の活性化を図るために選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、本校の中核的な存在として、部活動の活性化に貢献し、自らの技術向上に努力する姿勢が他の生徒の模範となることを期待する。												
		機械 電子機械 電気 電子 (各科共通)	I	体育的活動		20% 程度	希 望 者	調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題なく、調査書の学習の記録の9教科の評定合計が一定水準に達している者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	○
				野球(男)、サッカー(男)、テニス(男)、体操(男)、剣道(男)、柔道(男)、陸上競技(男)、バレーボール(男)における実績、適性、活動意欲											
II	中学校における学習		30% 程度	全 員	調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の学習の記録における9教科の評定合計に優れた者を合格者とする。	○	○	○							
	9教科の学習成績														

① 科名

1つの欄に2つ以上の科名が書いてある場合は、それらの科をまとめて募集(くくり募集)することを示しています(上表  で示した部分)。
1つの欄に2つ以上の科名が書いてあり、最後に(各科共通)とある場合は、募集は別々ですが、選抜方法が共通であることを示しています(上表  で示した部分)。

② 設定の目的

選抜対象を「希望者」とする学校裁量枠について示しています。

③ 選抜段階

1つの科でⅠ、Ⅱなどと分かれている場合は、この順番に選抜することを示しています。

④ 選抜において重視する観点

各実施校の選抜段階ごとに何を重視して選抜するかを示しています。

★は第2志望の科まで志願することができる選抜段階を示しています。

⑤ 審査項目

④の具体的な内容を示しています。使われている言葉の意味は次の通りです。

ア 実績・・・中学校内外における当該活動の記録

イ 適性・・・高校における活動に適応できる当該活動についての資質・能力

ウ 活動意欲・・・高校入学後に当該活動を3年間継続する意欲

エ 9教科・・・国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語

オ 5教科・・・国語、社会、数学、理科、英語

カ 種目名(男)・・・その部活動では男子のみが対象であることを示しています。

キ 種目名(女)・・・その部活動では女子のみが対象であることを示しています。

ク 種目名のみ・・・その部活動では男子、女子両方が対象であることを示しています。

※審査項目に「活動意欲」と記載している場合、入学後に当該活動を続けることが求められています。

なお、当該活動に関する学校裁量枠に志願しない場合でも、当該活動に関する部活動に入部することができます。

⑥ 選抜割合

募集定員に占める、各選抜段階の合格者の割合を示しています。

1つの科で選抜段階がⅠ、Ⅱなどと分かれている場合は、選抜段階ごとに分割して選抜する際の割合を示しています。全募集定員は、11月上旬に公表する予定です。

平成31年度選抜における募集定員から変更がある学校については、選抜割合を変更することがあります。

⑦ 選抜対象

各実施校の選抜段階ごとに、希望者だけを対象に実施する選抜か、全員を対象に実施する選抜かを示しています。

⑧ 選抜方法の概要

各学校で実施する選抜方法の概要を示しています。よく読んで、どのような受検者が合格者となるのか確認してください。「著しく問題のある」、「一定水準に達している」、「問題のない」、「優れた」等の具体的な基準は、各実施校により異なります。

⑨ 選抜資料

調査書・学力検査・面接はすべての選抜段階で使用されます。

学校独自選抜資料は、○印のついたものを用います。科や選抜段階ごとに異なる場合があります。

学校独自選抜資料の概要については、11月下旬に各中学校に配布します。

「その他」には、実技検査、作文以外の学校独自選抜資料の名称(適応力検査等)が示されています。

⑩ 参考資料

事前調査票は、実技検査等の準備に当たり使用するもので、採点したり評価したりするものではありません。入学願書提出の際、併せて提出します。事前調査票の記載内容については、11月下旬に各中学校に配布する学校独自選抜資料の概要においてお知らせします。